



楽々亭通信

第27号
令和5年1月1日号

発行:NPO法人没イチの会・京都

十二月の楽々亭を 開催いたしました



「謹賀新年」
どうぞ、今年もよろしく
お願い申し上げます。

本願寺派布教使

安堂芳雅

■年の初めに思うこと

数年前にいただいた年
賀状です。

「親死ぬ 子死ぬ 孫
が死ぬ ああ、めでたい」
みなさん、元旦から何も
こんなことを・・・、
と思われたのではないで
しょうか。

とんちで有名な一休さ
んにこんなお話がありま
す。

あるご隠居さんが新し
く家をたてられ、“この機

会に、何か家宝になるよう
なありがたい言葉を書い
てもらおう”と、一休さん
のお寺にお願いに行きま
した。

一休さんは、「よしよし」
と筆をとり、すらすらすら
と、

「親死ぬ 子死ぬ 孫
死ぬ」と書きました。

「ありがたい言葉をお
願ひしたのに、いったいこ
れは何ですか！」と、ご隠
居さんは大怒り。
すると一休さん、「では、
その逆、「孫死ぬ、子死ぬ、
親が死ぬ」と書いた方がよ
かったか、、、順番通りに、
親、子、孫と死んで往くの
が「ありがたい」ことなん
じゃ、逆はつらからう。」と
諭されたということでした。

論されたということでした。

一休さんが伝えたかっ
たのは、「親、子、孫」と
いういのちの順番に死ん
で往けたらこんなに喜ば
しいことはない、という
私たちの願いです。

たしかに、生まれたか
らには死んでゆかねばな
りません。

それが、親が先に死ん
で、その子が親になっ
て死に、その孫が親になっ
て死んでいく、歳を重ね
たものから順番に死んで
いくなら、悲しさの中
にも受け入れることができ
ます。

逆に可愛い孫が先に、
当て頼りとしていた子供
が先に死んだらどうでし
ょうか。

これほど悲しいことは
なく、順番通りに逝くこ
とが、いちばん喜ばしく、
めでたいことです。

しかし、私たちがいた

だいているいのちはそう
ではありませんね。
私は楽々亭のみなさん
から、弟や妹、子や孫、そ
して自分より年若い妻の
死に立ち会わねばならな
い厳しいいのちのすがた
を教わっています。

きっと、年賀状をくださ
った方は、
ご家族そろって、新しい
年をお迎えのことと思
います。

しかし、そのことは当た
り前ではなく、有り難い(あ
る事が難しいこと)です。
当たり前と受け止めず、
「おかげさま」と慶ばせて
いただきましょう。とおす
すめ下さっていたのです。

「人は出会いによって
育てられ、別れによって深
められる」

今年もまたごいっしょ
に、今ここにいのちいた
だいて意味を語りあい

ましよう。



2023年お正月にむけて

今月号の安堂先生の教えは、布施というものでした。私も少しは仏教界に身を委ねた経験で布施とは？自分の物という執着心を取り除くために布施をする
と聞きました。

布施、寄付といえど昨今マスキを賑わせている、統一教会何百万円、何千万円の布施・寄付をしないと先祖が浮かばれないとか、自分が死んだ後良いところに行けないとか、それを信じた人が借金までして寄付をしよう。マインドコントロールがうまいのに驚かされますが、昔から、地獄の沙汰も金次第、閻魔大王にたくさんお金を積んだら地獄に落ちないそうです。私など貧乏のまま死んでしまう予定ですので、地獄に落ちるのかもしれないですね。せいぜい除夜の鐘をテレビで聞きながら、天国に行けますよう祈るしか方法がないようです。

お正月は仏教徒のくせに神社にお参り、年末は仏様、正月は神

様、どこかにあたって救ってくださるかもといういろいろお賽銭も5縁がありますようにと、5円を出します。最近5円玉が少なくなってきたいますので、年末からしつかり取っておきます。皆さんは沢山のお賽銭を出して方がいいですよ、死んだら良いところに行けますよう、しつかり出して下さい。

神社もこの頃不景気のようにすからぬ。

今年はどうな年にされますか？病気との付き合いは？私は肺がんが治りきっていないので今年が癌との戦いですね。満身創痍ですが、死ぬまで生きるつもりです。死ぬまで前に向かって歩いていこうと思います。

正月早々引越します。山上です、仙人になります。気が向いたら遊びに来て下さい。

〒610-1101

京都市西京区大枝北沓掛152
サンシティー桂坂ロイヤル式番館406号

電話 075-874-5320

090-2924-0014

今年もよろしくお願いします。

籠谷 弘



楽々亭 1月の予定

1月17日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時~12時

12月に開催した場所です。

表玄関口から入って下さい。



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。